

新しい洗濯表示のポイント ～お客様への説明のために～ 想定QA

<表示全般について>

Q1. なぜ洗濯表示が変わったのですか？

A1. 海外の製品でも国内の製品でも同じ表示にすることで、「貿易がしやすい」「海外で購入した衣類の取扱い方が理解できる」などのメリットがあります。

Q2. 以前の洗濯表示と比べて何が変わったのですか？

A2. 変わったポイントは3つあります。

ポイント1: すべてのマーク(記号)のデザインが変わり、種類が増えます。

ポイント2: 推奨(指示)する表示から上限表示に変わります。

表示よりも強い作用や高い温度での洗濯やアイロン掛けは、衣類にダメージを与える可能性があります。

ポイント3: 記号だけで伝えられない情報がある場合は、簡単な言葉で記載されます(付記用語)。

<家庭洗濯の記号について>

Q3. 洗濯記号に洗濯機のかたちがありません。手洗いをしなければいけませんか？

A3. 従来の洗濯機記号  から  の記号に変わりました。洗濯機は国によって様々なかたちをしているためです。

なお、「手洗い」の記号は  で、一番やさしい洗い方です。

新しい表示では「洗濯機洗い」も「手洗い」も水を使用するため、水をイメージできる「おけ」の絵柄で表されています。

Q4. 弱い洗い方「-」や非常に弱い洗い方「=」とはどのような洗い方ですか？

A4 「-」は、洗濯機の「標準コース」などより弱いコースで洗ってください。

「=」は「-」よりさらに弱く洗うことを示しています。

洗濯機のコースの強さは、洗濯機の取扱説明書を確認してください。

Q5. 手洗いの場合水温の上限はありますか？また、手洗いの方法はどのようにしたらよいですか？

A5. 手洗いの場合、40℃が限度です。手洗いは「押し洗い」や「振り洗い」などのやさしい洗い方をしてください。もみ洗いは禁止です。



<押し洗い> 畳んだ洗濯物の上から手のひらでやさしく押しは軽く持ち上げ、また押すを繰り返して洗う方法です。



<振り洗い> 洗濯物は畳まずに、軽く振る、または広げたり、すぼめたりなどしてやさしく洗う方法です。

<漂白の記号について>

Q6. 塩素系漂白剤と酸素系漂白剤の違いは何ですか？

A6. 塩素系漂白剤は漂白力が強いので、色柄物には使用できません。

一方酸素系漂白剤は、白物にはもちろん、ほとんどの色柄物に使用できます。

漂白剤の取扱説明文をよく読んで正しく使用してください。

△ 白い三角は塩素系漂白剤や酸素系漂白剤で漂白ができます。

△ 斜線の三角は酸素系漂白剤のみが使用できます。

Q7. ~~△~~「漂白剤は使えない」のマークは、漂白剤入りの洗剤は使用できますか？

A7. 漂白剤入りの洗剤は使用できません。
(塩素系漂白剤も酸素系漂白剤も使用できません)

<乾燥の記号について>

Q8. タンブル乾燥の乾燥温度、「 $\cdot\cdot$ 」「 \cdot 」の具体的な温度は何度くらいですか？

また、家庭用乾燥機で温度設定はできるのでしょうか？

A8. 「 $\cdot\cdot$ 」は最高80℃、「 \cdot 」は最高60℃を示しています。家庭用乾燥機では「 $\cdot\cdot$ 」は「強(高温)」など、「 \cdot 」は「弱(低温)」などで乾燥してください。

乾燥機の温度は、乾燥機の取扱説明書を確認してください。

Q9. 絞りのマークが無くなりましたが、絞って良いかは何を見て判断すれば良いのでしょうか？

A9. 次のマークは絞ってはいけません。

III ぬれつり干しがよい

IIII 日陰でのぬれつり干しがよい

IIII ぬれ平干しがよい

IIII 日陰でのぬれ平干しがよい

その他の乾燥記号は絞ってもかまいませんが、絞り方について「弱く絞る」などの付記用語の記載に注意してください。

Q10. 「ぬれ干し」の表示はどのような場合につけられているのですか？

また「ぬれ干し」のメリット、デメリットを教えてください。

A10.  「ぬれ干し」はしわになりやすい素材につけられます。「ぬれ干し」をすることで脱水や絞りによる「しわ」を防ぐことができ、乾燥後のアイロン掛けが楽になります。ただし「ぬれ吊り干し」の場合、水分の重みで生地が伸びやすくなるので注意が必要です。

「タオルドライ(タオルなどで軽く水分を取る)」などを行うとよいでしょう。



<アイロン仕上げの記号について>

Q11 以前は高、中、低の表示でしたが、新しい記号は「 \dots 」「 $\cdot\cdot$ 」「 \cdot 」になっています。

高「 \dots 」、中「 $\cdot\cdot$ 」、低「 \cdot 」と考えてよいのでしょうか？

A11. 温度設定はアイロンの取扱説明書で確認のうえ、「 \dots 」200℃以下、「 $\cdot\cdot$ 」150℃以下、「 \cdot 」110℃以下でアイロン掛けをしてください。

Q12. 今までの表示と違いアイロンのマークより離れたところに「あて布使用」と書いてありますが、家庭でのアイロン掛けに必要ですか？

A12. これまでと同様にアイロン掛けの際にはあて布をご使用ください。

<ウエットクリーニング>

Q13. 「ウエットクリーニング 」は家庭での「手洗い 」とどのような違いがあるのですか？

A13. 「ウエットクリーニング 」は専門の業者が特殊な技術で水洗いを行う方法です。

家庭では洗濯できない大きな製品や仕上げが困難な製品、色落ちや型崩れが心配されるデリケートな衣類や樹脂加工した製品などについて、特殊な技術により水洗いによるダメージを最小限にとどめ洗濯から仕上げまでを行います。

そのため、「家庭洗濯禁止 」の記号があり「ウエットクリーニング   」の記号がある場合はクリーニング店にウエットクリーニングの依頼をしましょう。

【新しい洗濯表示の覚え方のコツ】

まずは5つの基本記号の意味を覚えましょう、
「」おけマークは洗濯、「」三角は漂白処理、「」四角は乾燥、
「」アイロンマークはアイロン掛け、「」丸は商業クリーニングを示しています。

次に、基本記号と一緒に用いる付加記号について覚えます。

「—」線は多い方が、「・」は少ない方が、
デリケートな取扱いが必要であると覚えるとよいでしょう。
いずれもそれらの取扱いが出来ない場合は、これまでと同様×のマークで禁止を表します。

・5つの基本記号



+

・付加記号

強さ	線なし 通常	— 弱い	==== 非常に弱い	 禁止
温度	・ 低い	→ ← 低い	→ ← 高い	

+

・付記用語



最後に、従来通り「付記用語」の内容にも注意しましょう。